



松橋 淳郎 議員《さま大志会》

相武台前駅周辺の環境整備について

相武台前駅南口駅前広場の整備の拠点となる生産緑地は、令和元年12月に、座間市土地開発公社が取得しました。その後の基本計画の策定及び設計について、現在の進捗状況を伺います。また、交通広場の整備に当たり、計画されているバス停やタクシー乗り場などの各交通機関との協議、調整の状況について伺います。

かにかが沢公園北側の市道について、令和2年度当初予算に基本設計委託が計上されています。公園北側及び相武台前駅周辺の交通対策事業と聞かれています。どのような交通対策を目的として基本設計が行われるのか伺います。

都市部長 相武台前駅南口駅前広場の整備について、令和2年度は、計画区域内の家屋の所有者や地権者、隣接者等に事業内容を説明するとともに、境界確定業務や物件調査業務を実施しています。各交通機関との協議、調整については、今後、整備方針の策定作業を進める中で、事業者との調整を図っていきます。

市道の基本設計については、相武台前駅南口周辺、かにかが沢公園や座間中学校を結ぶ道路として、市道相武台87号線・88号線を中心に車両や歩行者等の交通に支障のない道路幅員等を確保するための道路線形を計画しています。



沖永 明久 議員《会派に属さない議員》

違う意見の人たちとどう向き合つか市長の政治姿勢を問う

今回の市長選挙では、佐藤市長が2万6616票、遠藤三紀夫氏が2万1500票で、佐藤市長が、5116票の差をつけ当選されました。この選挙結果をどのように見ているのか、所見を伺います。

市長 この結果を謙虚に受け止め、市民の皆様や議員の皆様、職員の意見などを十分に伺った上で判断し、全体の奉仕者として市政運営に生かしていきたいと思えます。

【再質問】考えていただきたいのは、市長の権限は非常に強く、その権力をどのように行使するのか、ということだと思います。自分を支持してくれる人たちだけとか、考え方の違



安海 のぞみ 議員《会派に属さない議員》

コロナ禍にある子どもの育ちに健やかな発達保障を

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による子どもたちの発達上の諸課題に及ぼす深刻な問題を危惧します。子どもの健康と安全、遊びの場の保障について伺います。また、年末年始に年越し子供食堂などの場として公共施設を使用することへの見解を求めます。

健康部長 緊急事態宣言に伴いBCG予防接種と4カ月児健診の集団から個別実施への変更や、全ての乳児幼児健診の受診月齢期間の延長などを行い、昨年同時期と比べて大幅な減少傾向はありません。

子ども未来部長 支援が必要な家庭の把握に努め、年末年始を含めた相談窓口の周知などを進めています。

都市部長 公園遊具の使用禁止は、子供の居場所をなくすとの指摘も多く、職員は対応に明け暮れました。今後、感染が再拡大した場合には県の方針に基づき、遊具等の取扱いに関して深く思慮したいと考えます。

教育部長 年越し子供食堂の場の提供ですが、公民館施設は社会教育施設という性質上物品販売は許可しておらず、食事提供も保健所の許可を得る必要があります。食材配布等は施設利用団体や地域のボランティアとしての活動範囲内であれば可能と考えます。



星野 久美子 議員《日本共産党》

小・中学校体育館へエアコン設置を

学校体育館へのエアコン設置について、2018年第3回定例会の私の一般質問に対し「現状の建物では効率的なエアコンの効果は期待できず設置は難しい」との回答がありました。大型扇風機についても「児童・生徒が運動している場所への大型扇風機等機器の設置は危険なので、設置は考えていない」とのことでしたが、気候変動などを通して夏の暑さは年々増し、自然災害による避難場所、避難所の需要も高まり、体育館へのエアコン設置を求める声はますます高まっています。

2020年12月現在、小・中学校体育館へのエアコン設

置についての考えに変化はあったのか伺います。

教育部長 現状の建物では、構造的な断熱性能が高くなく、効率的なエアコンの効果は期待できないため、建て替えや大規模改修を行う際の検討課題と認識しています。しかし、暑さ対策は必要であり、今後の補修工事の際には、屋根や壁面、開口部の遮熱や断熱対策を検討していきます。

また、令和2年度は、3密回避のため、夏期に体育館を使用することから、新型コロナウイルス感染症緊急対策として学校の要望に基づき、大型冷風機やスポットクーラー等を整備しました。



長瀬 未紗 議員《会派に属さない議員》

就労準備支援事業の評価と課題・展望を問う

本市が2017年から取り組んでいる就労準備支援は、ひきこもりなどで就労経験・社会経験が少ない人のための事業で、単なる就職のための支援ではなく、生活習慣やコミュニケーション能力の改善など生活面でのサポートに重点を置いています。現在は共同企業体が委託を受け、相武台前駅近くに「はたらつく・さま」を開設し、事業を行っています。共同企業体による実施は本市の特徴であるといえますが、その評価を伺います。また、事業開始から3年経ち、新たに見えた課題と今後の展望について伺います。

福祉部長 本市では、生活

協同組合を代表団体とする共同企業体への業務委託により就労準備支援事業を行っています。共同企業体のネットワークや他自治体での実績を踏まえた実習プログラムの実施は、利用者の就労や社会的自立に効果を上げていて考えます。特に就労支援だけでなく、生活支援プログラムや社会的孤立の解消に着目した独自の取組は人と人とのつながりを回復し、自立に向けた意欲の喚起に効果を上げていて考えています。また、原則1年間の利用を想定していましたが、1年を超える利用が増え、必要に応じて支援計画の見直しをしています。



須崎 友康 議員《会派に属さない議員》

座間市職員の高い給与について

令和元年12月25日の神奈川県の記事では、国家公務員の平均給与を100としたラスパイレス指数について、座間市は県内トップの102.6、政令市、中核市を除く全国の市区町村で8位でした。また、平成25年から平成30年の平均給与の推移を比較すると、民間は41.4万円から44.1万円の約6.5%の増加に対し、本市職員は63.2万円から69.6万円で約10.1%の増加です。官民格差は広がっており、本市の財政状況を考えると、今後の市民サービス向上のために、職員給与の適正化が必要だと考えます。

本市の指数が国の基準を上回

り、全国平均、近隣他市や類似団体よりも高いことは、納税者である市民の納得が得られないと考えますが、ご所見を伺います。

総務部長 本市のラスパイレス指数は、国を100とした指数より高く、県内他市の状況から見ても高い水準にあると認識しています。現在、人事評価制度については再構築中で、制度の本格実施に向けて対応を進めています。また、職務の級別の定数管理についても定員管理計画に合わせ見直しを進めます。引き続き給与水準の適正化に取り組む中で、ラスパイレス指数についても改善を図っていきます。

▽12月18日 委員会審査報告・質疑・討論・採決、継続審査案件上程、議員派遣、議員提出議案上程(提案説明・質疑・委員会付託・討論) 省略・採決、閉会

なお、質疑、総括質疑、討論は、次の議員が行いました。

議員 沖永明久(会派に属さない議員)、高波貴志(自民党・いさま)、守谷浩一(日本共産党)

総括質疑(11月26日)

内藤幸男(自民党・いさま)、沖本浩二(さま大志会)、伊藤多華(座間市公明党)、星野久美子(日本共産党)、安海のぞみ(会派に属さない議員)、沖永明久(会派に属さない議員)

議員提出議案第20号・第21号に対する質疑(11月26日)

沖本浩二(さま大志会)、沖永明久(会派に属さない議員)

議員提出議案第20号・第21号に対する質疑(11月26日)

沖永明久(会派に属さない議員)、沖本浩二(さま大志会)

議員提出議案第107号に対する質疑(12月7日)

沖本浩二(さま大志会)

討論(12月18日)

沖永明久(会派に属さない議員)、星野久美子(日本共産党)、沖本浩二(さま大志会)、伊藤多華(座間市公明党)、安海のぞみ(会派に属さない議員)、荻原健司(自民党・いさま)